

ねんりんピック秋田2017

全国の60歳以上の男女約1万人が、スポーツや文化で交流を深める「第30回全国健康福祉祭あきた大会」が9月9日から3日間開催され、秋田県内17市町村の会場で26種目が一斉に実施されました。

将棋交流大会は、大仙市ふれあい体育館並びに仙北ふれあい文化センターで、65チーム195名が参加して開催されました。

審判長には島朗九段、副審判長には北島忠雄七段、高見泰地五段、鈴木環那女流二段の合計4名のプロ棋士が来場、席上対局や指導対局にあたりました。

特別表彰の最高齢者賞は、熊本県から車椅子で参加された井崎圭支さん88歳が受賞しました。

さて名古屋市チーム（谷口稔さん・竹内晃平さん・若井喜也さん）の成績は、団体予選リーグを真坂の0勝3敗で予選落ちを喫しました。

翌日は気持ちを切り替え3人とも個人戦に臨み、若井さんは1回戦を突破するも2回戦で惜しくも敗れ銅メダルを逃がしました。他の2人は持ち時間いっぱい頑張るも日頃の練習成果を出し切れず1回戦で苦敗しました。

（参考）近隣3県の成績

愛知県：団体戦予選落ちするも、個人戦で金1個・銅1個獲得する。

三重県：団体戦予選落ちするも、個人戦で金1個獲得する。

岐阜県：団体戦予選落ち、個人戦も入賞者なしに終わる。

名古屋市付添役員 山中利夫

<将棋交流大会会場入り口にて>



<団体予選開始直前の表情>

